



主催：東北大学 災害科学国際研究所
協力：東北大学病院 施設企画課
メディカルITセンター・MDUC

第30回東北大学災害科学研究拠点セミナー
第43回「災害と健康」学際研究推進セミナー
第10回ヒューマンレジリエンス重点研究領域セミナー

今考えるべきプラスセキュリティ ー医療安全の視点からー

情報セキュリティ3大要素がCIAと言われ続けもう20年近くたち、サイバーセキュリティといえば主に技術的な側面に着目されることが多かった。個人情報ないしプライバシーという考え方が世界中において重要な考え方となり、一つ事故が起きるとその被害は想像を超えるような額になることもある。とはいえ、その対象はデータでありモノである。

しかし、このモノからついに人の生命に直結しうるサイバー攻撃によるインシデントが発生した、これがまさに医療分野である。厚生労働省においても非常にこの点を重く受け止め、ここ数年において医療機関におけるサイバーセキュリティ対策について様々な施策を進めてきたように、国内外において医療安全の視点において様々な取り組みが開始されている。

そこで本講演では、実際に医療現場にて発生したセキュリティインシデントを紹介するとともに、特にITガバナンスおよびBCPの重要性について言及したい。



大阪大学
サイバーメディアセンター教授, CISO

猪俣 敦夫 先生

2008年奈良先端科学技術大学院大学准教授、2016年東京電機大学教授、2019年より現職。一般社団法人公衆無線LAN認証管理機構代表理事、一般社団法人JPCERTコーディネーションセンター理事、一般社団法人ライフデータイニシアティブ理事、一般社団法人大学ICT推進協議会理事、大阪府警察・奈良県警察サイバーセキュリティ対策アドバイザー、大阪急性期・総合医療センターインシデント調査委員会委員長他、多数。

2024年7月11日（木）
16:30～17:30

WEB 開催
(ZOOM)

本セミナーは医学系研究科系統講義コース科目等の授業として振替可能です

お申し込み・お問い合わせ

東北大学災害科学国際研究所
「災害と健康」プロジェクトユニット
<http://www.irides-pudh.med.tohoku.ac.jp>



指定国立大
災害科学 世界トップレベル研究拠点